



あらい 汎 プロフィール

長野県岡谷市出身。舞台芸術学院15期卒。

新劇団研究生を経て独学でパントマイムを始める。

1968年～1979年 劇団「転形劇場」に所属。

1971年 ヨネヤママコさんと出会い、助手、共演者として活動。

1973年 ヴィテルボカレッジ(米国、ヴィスコンシン州)にて
マイム、クラウンの講習を受ける。

ワンツージャンプ(TBS)、ひらけポンキッキ(フジ)レギュラー。

1976年 汎マイム工房、旗揚げ。

1982年 国際マイムフェスティバル(イタリア) マイムソリスト賞

1983年 国際演劇フェスティバル(イタリア) 黙劇「待合室」グランプリ受賞。

1995年より海外公演、ギリシャ(文化のオリンピック)

ユーゴスラビア(孤児難民施設慰問公演)など。

1997年 クラウンカレッジ・イン・ジャパンと合併。

パフォーミング・アーツ・カレッジ設立。多くのパフォーマーを育成。

パントマイム&サーカスショーをスタート。

2005年～文化庁主催巡回公演に参加。

パントマイム劇「待合室」「物置小屋のドンキホーテ」など。



著書



白塗りの道化師
パントマイムの心と身体
(晩成書房)

知っていますか?

～10月1日は「国際音楽の日」です～

1977年にユネスコの要請で設立された国際音楽評議会という会議で、翌年の1978年から毎年10月1日を、世界の人々が音楽を通じてお互いに仲良くなり交流を深めていく為に「国際音楽の日」とすることとしました。日本では、1994年から毎年10月1日を「国際音楽の日」と定めています。

令和3年度 文化芸術による子供育成総合事業 —巡回公演事業—

パントマイム&クラウン「汎マイム工房」 汎・マイム・ひとり旅



「文化芸術による子供育成総合事業—巡回公演事業—」

我が国の一流の文化芸術団体が、小学校・中学校等において公演し、子供たちが優れた舞台芸術を鑑賞する機会を得ることにより、子供たちの発想力やコミュニケーション能力の育成、将来の芸術家の育成や国民の芸術鑑賞能力の向上につなげることを目的としています。

事前のワークショップでは、子供たちに実演指導又は鑑賞指導を行います。また、実演では、できるだけ子供たちにも参加してもらいます。



パントマイム?

紀元前200年、古代ギリシャにMIMOS（ミモス）と呼ばれる無言道化師が誕生しました。声の出なくなった役者が身振り手振りだけで演じたのが評判となり生まれた芸だと言われています。

PANTO（パント）とは、色々な・総合的という意味です。

MIME（マイム）は、物真似という意味です。作品が、踊り、曲芸、お芝居などにより構成されているものをパントマイム、短い劇として演じられるものをマイムと呼んでいます。日本では言葉無しで演じられるところから、「黙劇」、「無言劇」と訳されています。ギリシャで生まれイタリアへ渡りフランスで花開いたのですが、日本にも古くから能、狂言、歌舞伎の「だんまり」にも見受けられるように、芸能の一部として存在しました。



MIMOS(紀元前380年頃の喜劇を描いた壺絵)

クラウン?

日本では、**ピエロ**と呼ばれるキャラクターです。日本語に訳すと**道化師**となります。仏の道を教化(化)する先生(師)のことです。世界には色々な宗教があります。教義を広める為に、街頭や広場や教会で唄ったり踊ったりして信者を獲得していった歴史があります。道化師もクラウンも、古くは、神事と関係があったのです。日本の猿楽もそうした芸能の一つです。

尚、**クラウン**の語源は、馬鹿、間抜け、のろまなどの意味を持つヨーロッパの古語です。18世紀にヨーロッパで活躍したグリマルディーという芸人に、客が「クラウン!」と呼び掛けたのが始まりと言われています。

ピエロというのは、ひとつのキャラクターの名前で、イタリアで生まれたベドロリーノというキャラクターがフランスでピエール、発展してピエロと呼ばれたのですが、現在は死語となり欧米では通用しない言葉になってしまいました。



クラウンのキャラクターの一例
(左から、オーグスト/ピアンコ/ピエロ)

ジャグリング?

騙す、はぐらかすという意味です。日常生活の周りには、色々な物が転がっています。子供の頃は、不思議だったり、珍しかったりして、撫でたり、さすったり、投げたり分解して遊んだ物も次第に見慣れて新鮮さが失われてきます。しかし、子供の頃の物への眼差しを思い出して遊び始めた大人がいたのです。近頃は電子機器で出来た玩具が幅を利かせていますが、物が無かった頃は、人の素朴な発想と努力が遊びを作り出していったのです。

現在は、クラウンスキル用として作られた物ですが、元々はそこに転がっていた物なのです。余った布で作ったお手玉、お爺さんが被っていた古い帽子、捨てられていたピン等です。ちなみに、ボールジャグラーは、江戸時代に海外にわたった日本人がお手玉を見せ、それが西洋風に発展したものだといわれています。



サーカス?

1786年、イギリスの退役軍人フィリップ・アストレーによって始められたのが最初です。馬の曲芸が中心だった為、円形にして馬が走り続けられる形にしたものです。その後、幕間に道化師や曲芸を起用し笑いのあるバラエティーな構成になり、サーカスは何人もの優れたクラウンを生み出しました。

広大なアメリカでは、テントの中に3個の円形舞台を持ち、鉄道も自前で敷設するなどという巨大なリングサーカス団が生まれました。しかし、テントの火事で規制が厳しくなったり、演出の古さで飽きられて衰退の一途を辿ることになったのです。この衰退を嘆いたフランス政府は、1986年国立のサーカス学校を開校しました。そこから、新たなアーティストが生まれ、現代風な新しいアートサーカスが生まれ始めています。

汎・マイム・ひとり旅

プログラム

1 幕開け・旅のクラウン

ボストンバッグと ダービーハット

2 光マジック 身体の遊び。

光との戯れ
御挨拶

汎(ハン)という字は、海に漂う小さな物という意味です。

3 マイム 風船

老人と子供 そして風船

4 パントマイム 詩集

北原白秋 作「薔薇」

薔薇の木に
薔薇の花咲く
何事の不思議なけれど。

5 マイム教室と生徒さんのマイム発表会

壁、草花

6 クラウンマイム 「綱渡り」

ピエロの綱渡り

7 生徒さんのジャグリング大会

3個ボール(カスケード)への挑戦。

8 パントマイム詩集

宮澤賢治 作「雨ニモマケズ」

雨ニモマケズ
風ニモマケズ
雪ニモ夏ノ暑サニモマケヌ
丈夫ナカラダヲモチ
……ソウイフモノニ
ワタシハ ナリタイ

9 フィナーレ

御挨拶

会場条件、生徒さんの人数などでプログラムを変更する場合がございます。ご了承ください。



キャスト パントマイム&クラウン：あらい汎
生徒さん発表会共演、司会：キラリン／チーキー (Wキャスト)

スタッフ 作、構成、演出：あらい汎 舞台監督：鈴木裕也 照明：宮崎 岳・和泉大樹
音響：岡元初菜 制作：長壁明美